

# 市民意見の要旨及び市の対応方針

「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン（素案）」に対する市民意見募集で頂いたご意見等について整理し、意見の要旨と対応方針について以下の表にまとめました。

【意見に対する対応の記号】 ○：反映したもの △：今後、検討していくもの ◆：素案に盛り込み済のもの ■：反映しないもの

番号	意見概要	該当頁	対応	市の考え
1	●「行きたい」と思わせる何かが必要。 例えば、丸の内やみなとみらいのような街づくり。千葉神社では少しインパクト不足。栄町の再開発や、昔の街並みの再現などの思い切った改善があってもよい。	全般	○	まちづくりには何らかのテーマをもたせるべきと考えており、GDでは、特に東エリアにおいて、県都にふさわしい商業・業務コアを形成する「西銀座周辺再開発」と、千葉市らしさ（都市アイデンティティ）に着眼して、千葉開府の祖である「千葉氏」ゆかりの千葉神社などの地域資源を活用し、昔ながらの通りの風景の再現する「中央公園・通町公園の連結強化」を先行的に実施すべき事業としております。 県都にふさわしい整備や、都市アイデンティティへの着眼がよりわかりやすくなるよう、表現等の修正を行いました。
2	●北口は千葉公園の魅力向上に努めた上での導線を検討すべき。井の頭公園のようなイメージで千葉公園が都会のオアシスとなれるようなまちづくりが希望。	全般	○	北エリアは駅からの徒歩圏に、商店街、中央図書館・生涯学習センター、千葉公園などがある憩いのエリアです。GDではまちづくりの方向性を考える上で、千葉公園の存在を特に重視しており、千葉公園そのものの魅力向上や、駅を出てすぐに千葉公園を感じられる取り組みなどを、わかりやすい表現等への修正を行いました。
3	●現在の千葉の街は小さい。千葉駅前大通りに留まらず、末広街道まで続くようなメインストリートを形成すべき。	全般	△	今後も、まちの規模とメインストリートとの最適な関係を、まちづくりの観点から検討していきたいと考えております。
4	●千葉市らしさを表わすために千葉市の礎をつくった千葉氏を全面に出した街づくりをする。 具体的には ①亥鼻城の再建②町並みなどの復元③亥鼻城から千葉神社までを千葉氏の歴史を感じさせる飾り付け④千葉氏ゆかり史跡めぐりコースをつくる。	全般	○	まちづくりには何らかのテーマをもたせるべきと考えており、GDでは、特に東エリアにおいて、千葉市らしさ（都市アイデンティティ）に着眼して、千葉開府の祖である「千葉氏」ゆかりの千葉神社などの地域資源を活用し、昔ながらの通りの風景を再現する「中央公園・通町公園の連結強化」を先行的に実施すべき事業としております。 都市アイデンティティへの着眼がよりわかりやすくなるよう、表現等の修正を行いました。
5	●千葉駅建替えに関連して衰退気味の東口や西口に再開発事業が計画されている事は市民として大いに歓迎であるが思い切った事をしていけないと「大きな成果」は期待できないと思う。全国的に注目されるような事業目標が必要。	全般	○	県都にふさわしい商業・業務コアを形成するため、西銀座周辺を一体的にリニューアルする「西銀座周辺再開発」を西銀座周辺再開発については、先行整備プログラムの中でも優先的に実施すべき事業として位置付けております。また、駅前大通りなどの道路占用許可の特例制度の活用など、現在、実施している全国的にも珍しい取り組みをわかりやすく記載します。
6	●千葉市のみならず県全体の産業、商業、文化などを全国的、国際的な視野で発信することが必要。そのために関連する多くの課題を再開発に結び付けて事業展開していく必要がある。	全般	○	本市が千葉県を中心であることを意識して、千葉駅周辺全体の方向性や東エリアのまちづくりの方向性を整理してきましたが、特に、西銀座周辺を一体的にリニューアルする「西銀座周辺再開発」においては、県都にふさわしい商業・業務コアの形成を進めるため、これを強調する修正を行いました。
7	●先行整備プログラムの成否は重要である。西銀座の現状を変えるのは容易ではなく、「街おこし」への夢なり情熱が地元と共有される事が不可欠である。地元及び関係者のみならず県・市民全体が応援できるような事業テーマ案を早急に提案し、意見公募されるよう希望する。	全般	△	市としても、先行整備プログラムの成否は重要と認識しております。「西銀座周辺再開発」では、西銀座周辺を一体的にリニューアルし、県都にふさわしい商業・業務コアを形成することをテーマとしてGDを策定しております。今後のまちづくりを進めるにあたって、このGDが関係者の意識共有のためツールとして役立てばと考えております。
8	●商店街同士の連携や回遊性向上に繋がる方策を検討してほしい。	全般	○	商店街へのヒアリング・勉強会等を通して、今後の方向性を示唆する特色を整理しています。今後は、商店街等と協働して、この特色を生かしたまちづくりを進め、通りごとに違う色を見せていくことで回遊性向上にも繋げていきたいと考えておりますので、これを強調する修正を行いました。
9	●千葉都心と幕張新都心の導線整備	全般	△	幕張新都心との連携などについては、今後、検討していきます。
10	●再開発地区における優遇措置 具体的には、容積率・駐車場設置条例の規制緩和、固定資産税の減免、早期の減価償却支援策を講じる。	全般	◆	建替え促進のため、一定の条件を満たしたものにに対する支援策や規制緩和策を位置付けており、今後、課題や効果などを総合的に勘案し、検討していく予定です。
11	●県都千葉市の顔としての中心市街地 市域を超えて人が集う街でなくてはならない。	全般	○	番号「6」と同じ
12	●富士見1丁目、栄町の今後の姿 東口や西銀座再開発をスムーズに進めていくために、富士見1丁目地区・栄町の開発は必要不可欠ではないか。	全般	△	GDでは先行整備プログラムのように、優先的・先行的に実施が必要な事業等を抽出しており、東エリアでは「西銀座周辺再開発」も掲げておりますが、その中に、富士見1丁目なども含めて表現しております。今後、西銀座周辺の動向にあわせ、周辺地域との連携など、詳細な検討を進めたいと考えております。
13	●バスターミナルの設置について 千葉市外から千葉都心への車での交通アクセスを考えた場合、中心市街地への高速道路がない事、バスターミナルがない事が課題である。これにより既に構築されている成田⇒千葉都心⇒幕張新都心⇒東京のラインも可能となる。	全般	△	道路状況や需要等、必要性や費用対効果を十分に検討した上で方針を決めていきます。
14	●特徴的な取組みの必要性 目新しいものがない。例えば、前例のないまちづくりの手法の導入やランドマーク的な建築物を建てるなど、核となるものを取り入れた計画してほしい。	全般	△	ランドマークなどの具体的な特徴は、再開発等の事業検討の中で、地元の意向等を踏まえて検討していきます。
15	●中央公園プロムナードの活性化策 ダイワロイネットのバー等は、広い歩道空間を活かす良い事例。パリのシャンゼリゼ通りのような景観を醸し出せるよう、街灯や歩道等の整備についてもグランドデザインに示すべき。	全般	○	道路占用許可の特例制度の活用などにより、駅前大通りの魅力向上や活性化等について検討していくので、それがわかるように修正を行いました。
16	●中心市街地の居住人口の促進	全般	◆	都心居住の促進は重要なまちづくりの方向性の1つとして考えております。
17	●図面の商店街等の区域修正 (千葉ショッピングセンターの区域にMioが含まれる)	全般	○	ご指摘を受け、修正を行いました。
18	●図面の商店街等の名称の修正 (「千葉ショッピングセンター(C.one)」に修正)	全般	○	ご指摘を受け、修正を行いました。
19	●千葉駅周辺の活性化は、千葉県の顔であり、市単位で小さくまとめるのではなく、千葉県全体の観光地案内等も整備すべき	1	○	番号「6」と同じ

# 市民意見の要旨及び市の対応方針

「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン（素案）」に対する市民意見募集で頂いたご意見等について整理し、意見の要旨と対応方針について以下の表にまとめました。

【意見に対する対応の記号】 ○：反映したもの △：今後、検討していくもの ◆：素案に盛り込み済のもの ■：反映しないもの

番号	意見概要	該当頁	対応	市の考え
20	●100万人を目指した人口増加	1	◆	番号「16」と同じ
21	●千葉市の観光資源としてモノレール、加曾利貝塚、幕張等のわかりやすい観光資源のPRが必要。	2	△	GDで着目しているアイデンティティ以外にも、ゆるキャラを含めた市内各地の観光資源の効果的なPR等について、努めてまいります。
22	●千葉市固有のちはなちゃんやかそりーぬ等のゆるキャラの活用	2	△	番号「21」と同じ
23	●北エリアの生涯学習センターの憩いのゾーンは駅から歩ける事が良い。しかし、道中は商店が少なく楽しくない。千葉公園はポートもよい。	3	○	番号「2」と同じ
24	●東エリアについては、栄町通りは、韓国街や千葉市の友好都市に観光紹介も含めて出店をしてもらい、国際通りのような街を造るのはどうか。千葉駅から近く立地等のポテンシャルは悪くない。	3	△	商店街の特色においては、地元商店街へのヒアリング・勉強会等を通して整理しています。今後も、商店街の意向等を十分に踏まえた上で、市と商店街で協働してまちづくりを進めていきたいと考えています。
25	●名古屋市のオアシス21みたいな空中公園を旧バルコ跡地にまたがるように造って中央公園の魅力を上させる。	4	△	面積的な制限や費用対効果を十分に検討し、権利者の意向を踏まえながら、方針等を決めていきます。
26	●美術館、科学館、郷土博物館等の文化施設の連携強化	4	○	歴史・文化施設との連携には着目しており、よりわかりやすい表現等に修正を行いました。
27	●歩行者天国実施空間を拡張	4	○	富士見町の歩行者天国は「商店街毎の特色」にも記載してあるように、商店街も実現したい意向があり、現在、商店街が主体となり取り組んでいるところです。今後も、市はこれに協力し、積極的に進めていきたいと考えています。また、その他の地区においても、地元の意向等を確認しながら、実施空間の拡張などによる歩行環境の向上について検討していくので、それがわかるように修正を行いました。
28	●千葉駅前に中心市街地エリアの案内所を整備	4	△	番号「21」と同じ
29	●千葉駅から千葉神社までを静かな裏通りで結ぶ裏参道の整備をしてほしい。	4.7	△	番号「24」と同じ
30	●案内サインや石畳の導入、電線の地中化等を検討してほしい。	4.7	◆	「中央公園・通町公園の連結強化」において、サインや石畳などの整備に着目しております。その他の取り組みも含め、今後、事業実施に当たっては、地元の意向等も踏まえながら、詳細な検討を進めたいと考えております。
31	●バルコの後継店に「ラフォーレ原宿」の検討をお願いしたい。	4.7	△	中央公園を中心に賑わい拠点の形成として、「複合的な土地利用の誘導」が必要と認識しており、キーとなるテナントの導入を期待しております。今後、実施等に関しては、権利者等と十分な協議の必要があると考えております。
32	●中心街に若者呼び込むためには人気大型商業店舗が必要。若者が集う場所にはシニア層も集まる。	4.7	△	番号「31」と同じ
33	●千葉神社を明治神宮に、西銀座や富士見商店街を竹下通りに見立てて表参道にできれば、柏市のように「千葉の原宿」と呼ばれる可能性は十分にあるのではないかと。	4.7	○	「西銀座周辺再開発」において、西銀座商店街やC. oneから富士見商店街を通り、中央公園への続く賑わい軸の形成などにより、回遊性を向上させたいと考えております。今後、具体的な方策については、地元の意向等も踏まえながら、詳細な検討を進めたいと考えております。
34	●駅ビルから人の流れを引き込むためには、駅前広場からの視認性を確保する事が重要。	4.7	◆	東エリアの方向性にて、「視認性確保」に着目しております。今後、事業実施に当たっては、地元の意向等も踏まえながら、詳細な検討を進めたいと考えております。
35	●中央公園、通町公園の連結強化のため、千葉神社参道化事業用地に中央1丁目1番地を含めて欲しい。中央1丁目1番地区画と葎川及び中央公園の間を通る市道を廃止すれば、中央公園の拡張、一体化も可能ではないかと。 10年後の千葉開府900年に向けた記念事業として是非実現してほしい。	4.10	◆	ご指摘の区域は、「中央公園・通町公園の連結強化」の対象区域には含めております。今後、区域の拡大などについても検討し、地元の意向等も踏まえながら、優先的に整備する区域などについても、詳細な検討を進めたいと考えております。
36	●西エリアについては、ポートタワー及び市役所までの通りが面白みに欠け、一般市民に開放されている京葉銀行本店1階を有効活用すべき。	5	△	西エリアの方向性において、臨港プロムナード沿いの新築ビル等の賑わい誘導や、市役所周辺の公共空間の利活用に着目しております。今後、具体的な動きを見ながら、賑わい創出のため、民間施設と連携したまちづくりを進めたいと考えております。
37	●年代別や家族構成毎の категорияでまちづくりをしないと統一感に欠けてしまう。千葉駅周辺は高校生以下、車を利用する大人は中央公園付近に駐車し、買い物しながら周遊させる。	5	△	GDでは働く人、学ぶ人、住む人、環境客などの多様な人々が集う賑わいのあるまちを、全体の方向性として考えております。ご指摘のような詳細なターゲットをしばったまちづくりについて、今後、地元とともに、検討していきたいと考えております。
38	●東口、北口について駅から公園、図書館～駅を周遊できるように工夫する。	6	○	番号「2」と同じ
39	●街路樹を植えた通りにし、公園へ誘う。	6	○	番号「2」と同じ
40	●公園のお茶屋は古民家の移築等立派なものをつくる。	6	◆	北エリアでまちづくりの方向性を考える上で、千葉公園の存在は重視しており、先行整備プログラムにおいて、千葉公園関連整備を位置付けております。今後、千葉公園の再整備等の事業実施に当たっては、詳細な検討を進めたいと考えております。
41	●池に面した広いデッキを造りオープンカフェにする。	6	◆	番号「40」と同じ

# 市民意見の要旨及び市の対応方針

「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン（素案）」に対する市民意見募集で頂いたご意見等について整理し、意見の要旨と対応方針について以下の表にまとめました。

【意見に対する対応の記号】 ○：反映したもの △：今後、検討していくもの ◆：素案に盛り込み済のもの ■：反映しないもの

番号	意見概要	該当頁	対応	市の考え
42	●千葉公園内の競輪場跡地にジブリのテーマパークの誘致を検討してほしい。 来訪者は、千葉駅から千葉公園へモノレールで向かい。動物公園や加曾利貝塚へ足を伸ばす事も可能となる。	6	△	北エリアでまちづくりの方向性を考える上で、千葉公園の存在は重視しております。競輪場跡地の利活用については、現在、詳細な検討をしているところです。
43	●商店街の特色の修正 「若者向けの多様性と賑わいのある商店街」 →「若者からシニアまでの多様性と賑わいのあるショッピング・プロムナード」	7	○	ご指摘を受け、修正を行いました。
44	●東口再開発事業において、駅前広場から商店街にかけて通っている2本の公道を廃道にする計画は、道路が本来持っている空間の連続性や防災機能を無視する事となる。また、視界が遮られる事から、ビル裏側に位置する事業者の衰退を招くのではないかと懸念する。	9	■	東口再開発事業については、駅周辺のリニューアルの動きと捉えており、GDIに詳細を掲げておりませんが、当該事業では、廃止する道路と同程度幅員の通路が整備されることや、事業により築50年を経過している建築物が現在の耐震基準に基づく再開発ビルに更新されることで、耐震や耐火等の防災機能は向上するものと考えております。また、廃道することで細分化された土地の大街区化が可能となり、駅前という地区のポテンシャルを活かした、土地の有効高度利用が図れ、周辺に賑わいの波及効果をもたらす、拠点開発にふさわしい核となる商業施設の導入が可能になるものと考えております。
45	●東口再開発事業は、地権者・地元商店街・市民の全てが利益を得られる計画でなければならず、事業計画の見直しを要望する。	9	■	番号「44」と同じ
46	●アクセシビリティの強化 中心市街地周辺部に駐車帯を整備し、パーク＆ライドによる来街者増加を図る。 中心市街地内を循環するバスを運行する。	該当なし	△	パーク＆ライドや循環バスはこれまでも実施してきておりますが、さらなる工夫等については、今後、検討していきます。
47	●千葉駅の拡大と広域化について 東口前エリアを拡大し、中央公園にバスターミナルを設置し、NTT前の観光バス発着所の役割を担わせる。 東口と中央公園を結ぶ横移動型のエレベーターを設置する。 東口前にはタクシープールと一般送迎用の駐停車エリアを整備。	該当なし	△	バスターミナルについては、道路状況や需要等、必要性を民間と協働で検討し上で決定していきます。 東口と中央公園との連絡については、駅前大通りの魅力づくりや、西銀座商店街やC. oneから富士見商店街を通り、中央公園への続く賑わい軸の形成などにより、回遊性を向上させたいと考えております。 東口駅前広場のロータリーについては、線路に囲まれ、面積的な制限もありますが、より工夫しながら、利用しやすい空間づくりを目指していきたいと考えております。
48	●意思決定と実行組織について 地域全体に関わる政策は、全体としての意思決定と推進が必要だと考え、BID(意思決定ができる地域マネジメント機関)の設置を検討しても良いのでは。	該当なし	△	今後のまちづくりのため、地元等と話し合いの場を持ちながら、調査・検討していきたいと考えております。
49	○「50年先の未来をイメージして、概ね20年先の将来像」としているが、長期的な視点だけではなく、駅ビル開業(2017年)と東京五輪幕張開催(2020年)による千葉駅周辺の更なる弱体化を踏まえた短期的な視点での対応策も検討すべき。	1.8	○	基本的に、GDIは長期的視点で作成したもので、短期的に実施可能なものや具体的なものは随時、地元と相談しながら、検討していきます。 短期的なものとしては、駅前大通りの魅力づくりとして、道路占用許可の特例制度の活用等について検討していくので、それがわかるように修正を行いました。
50	○50年先のことでなく、直近で如何に回遊性を高めるかが重要であり、短期間でやれることに意欲的に取り組むべき。 ○実現可能なことの中で優先順位をつけ、官民そろって最低限やるべきことを明確にすべき。	1.8	○	
51	○西銀座や中央公園等について何年も検討ばかりしていると、千葉駅前の開発が動いているという実感なくなる。富士見町の歩行者天国については、社会実験でもよいので早期に取り組むべきである。また、通り町公園の計画など、困難で長期間がかかりそうな部分について、敢えてそこから着手することで、千葉駅を変えたいという本気度を示すべきである。	4.7 10	○	富士見町の歩行者天国は「商店街毎の特色」にも記載してあるように、商店街も実現したい意向があり、現在、商店街が主体となり取り組んでいるところです。今後も、市はこれに協力し、積極的に進めていきたいと考えています。 中央公園・通り町公園の連結強化は先行整備プログラムの中でも優先的に実施すべき事業として位置付けております。
52	○千葉駅前を県都にふさわしくするための3つのポイント ①東口駅前(ロータリー)を広く明るくすべし、ユニバーサルデザイン導入) ②大通りの魅力づくり、③西銀座の再開発	4.9	○	東口の方向性として、概ね示しております。 東口駅前ロータリーについては、線路に囲まれ、面積的な制限もありますが、より工夫しながら、歩きやすい空間づくりを目指していきたいと考えております。 駅前大通りの魅力づくりについては、道路占用許可の特例制度の活用等について検討していくので、それがわかるように修正を行いました。 西銀座周辺再開発については、先行整備プログラムの中でも優先的に実施すべき事業として位置付けております。
53	○千葉駅周辺は暗いイメージが強いので、中央公園も含め、上質な灯りを整備することが重要。こうしたことで、明るく歩きやすいまちにすることが重要。	4.5, 6	◆	東口駅前広場においては、明るい歩行環境創出のため、藤棚や構造物等の撤去・再配置を検討していきたいと考えております。
54	○インバウンド誘致は、受入体制の整備に加え、交通アクセスの利便性向上が不可欠。現在、バスルートは成田～幕張なので、幕張経由でも成田空港とのバス便を設定すべき。但し、大型バスの往来・発着可能なロータリーの整備が必要。	2	△	アクセス強化については、検討していきます。 ロータリー整備については、必要性や費用対効果を十分に検討した上で方針を決めていきます。 (JR千葉駅西口駅前広場から成田行きバスが出ていますが、利用者は少ない状況です)
55	○民間企業の参画を得るには収益性が重要であり、規制緩和や税金面での優遇など、事業者にメリットを感じてもらえるようなダイナミックな施策が必要。	1	◆	番号「10」と同じ
56	○容積率等の規制緩和も含め、ブロック体開発で効率化を図るべき。	3	◆	
57	○再開発事業は、長いもので40年かかるケースもあるが、経済性の面からできるだけ短期間で完成させるべき。	1	△	動き出した再開発事業については、市としても早期に完成できるよう、協力していきたいと考えています。
58	○地元事業者への工事・物品発注等の配慮が必要。	3	△	事業実施時には、極力、配慮していきたいと考えています。
59	○地権者ほか関係者間で将来像を共有するため、平面的な機能図に加え、完成後のまちの姿をより具体的に把握可能なイメージバースが必要。	4	○	イメージは極力、わかりやすい表現にしていきたいと考えており、写真等の差し替えや、配置や大きさ等の修正を行いました。 また、事業実施時には具体的なものが出来次第、お示ししたいと考えております。

# 市民意見の要旨及び市の対応方針

「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン（素案）」に対する市民意見募集で頂いたご意見等について整理し、意見の要旨と対応方針について以下の表にまとめました。

【意見に対する対応の記号】 ○：反映したもの △：今後、検討していくもの ◆：素案に盛り込み済のもの ■：反映しないもの

番号	意見概要	該当頁	対応	市の考え
60	○地域エネルギーの創出による環境にやさしい、世界に誇れるスマート&コンパクトシティを目指す。(参考)東京ガス・田町のスマエネ開発	4	△	今後、導入可能な地区等を検討していきたいと考えております。
61	○西銀座や京葉銀行がある1丁目地域も含めた中心市街地づくりが必要。 ○栄町を除かず、葭川の有効活用にもふれるべき。	4	△	葭川については、構造や費用対効果を検討の上、決定していきます。 (他は、番号「12」と同じ)
62	○駅前商業の購買力は低下しているため、都心居住(1,000戸から1,500戸のマンションなど)を促進することで需要を創り出す視点も重要である。	4	◆	番号「16」と同じ
63	○バスターミナルに関して、西口には多数のバスが発着可能なターミナルの整備は困難なので、栄町に整備してはどうか。	4	△	道路状況や需要等、必要性を民間と協働で検討し上で決定していきます。
64	○モノレール駅舎から東口・大通り・中央公園方面の眺望・視界の改善。人を街なかに誘導するきっかけを創ることが重要。※p4対応済み？	4	◆	「視認性確保」については記載済みです。 具体的には、今後、検討していきたいと考えております。
65	○駅前広場をもっと明るく余裕のある空間にすべき。 ○ユニバーサルデザインを導入すべき。 ○ロータリーからの藤棚の撤去。	4	◆	東口駅前広場においては、明るい歩行環境創出のため、藤棚や構造物等の撤去・再配置を検討していきたいと考えております。 ユニバーサルデザインは事業実施時での配慮になると考えますが、基本的に導入していくものと思っております。
66	○都市づくりにおいて、欧米、特にドイツの成功事例と比較すると、千葉市は鉄道駅のターミナル性が弱い。バスとモノレールとペDESTリアンデッキも含め、将来を見据えて総合的に整備する必要がある。	4	△	人の流れや、流れを変えた場合の影響、周辺建物との接続等を十分検討の上、必要性、費用対効果を見極め、方向性を決定していきたいと考えております。
67	○ベデがない場合の人の流れを精査・開示した上で対応方針・時期を決定すべき。 ○ベデを検討する際は、人が流れる部分と溜まる部分の両方が必要。 ○仙台駅前のようなベデを想定。例がないからこそ、困難でも創るべき。	4	△	
68	○葭川を栄町駅からきぼーるまで歩けるように木製デッキを整備すべき。	4	△	管理や費用対効果を検討の上、決定していきます。
69	○富士見商店街を歩行者天国にすべき。※盛り込み済み	4.7	○	番号「27」と同じ
70	○栄町は、千葉ロッテと連携した横浜の中華街に負けない韓国街の整備、あるいは中国やカナダ等の千葉市の姉妹・友好都市(計7都市)の人々向けの施設整備も考えられる。	7	△	番号「24」と同じ
71	○千葉駅から中央公園や千葉神社、きぼーるまで歩いてもらうには、移動時間が楽しくなければならぬ。そのためには、商店街に個性豊かなお店が必要である。	7	△	
72	○各種イベント等を、商店街がバラバラに行うのではなく、連携・一体化して取り組む必要がある。例えばマルシェに取り組んでどうか。	7	△	
73	○短期的な視点から、大通りを活用した賑わい創出が重要(前回提言)⇒細い動線表示が残っただけで、特に利活用の記述なし(p4・9記述なし) ○シャンゼリゼ通りのようなお洒落なオープンカフェや、東京丸の内のようなブランドショップが並ぶような通りにすべき。 ○大通りの塚本ビルから三越側に、屋台やキッチンカー等で実験的な商店街を創ってどうか。西銀座との連絡路も確保し、賑わいと回遊性を創出する。 ○イルミネーションはきれいだが、千葉駅から中央公園までつながっていれば、もっと多くの人に歩いてもらえる。知恵と工夫が必要。	4.9	○	駅前大通りの魅力づくりについては、道路占用許可の特例制度の活用等について検討していくので、それがわかるように修正を行いました。 西銀座周辺再開発については、先行整備プログラムの中でも優先的に実施すべき事業としての位置付けがわかりやすくなるよう、修正を行いました。
74	中央公園・通町公園(来訪目的創出) ○駅から中央公園周辺への回遊性創出には、そこに目的と個性が必要であり、文化的な要素を集約して「尖ったもの」を創る必要がある。 ○特に千葉市美術館の連携・利活用が重要。※p10の表記=弱い・ない ○尖ったもの=新しい価値=まちの個性=文化領域の集約=訪問目的	4.10	○	中央公園を中心に賑わい拠点の形成として、「複合的な土地利用の誘導」が必要と認識しており、キーとなるテナントの導入を期待しております。今後、実施等に関しては、権利者等と十分な協議の必要があると考えております。 歴史・文化施設との連携には着目しており、よりわかりやすい表現等に修正を行いました。
75	中央公園・通町公園(来訪目的創出) ○美術館は移設不能としても分館等の関連施設を創るべき。 ○金沢のように歴史・伝統がないので、新たに創るくらいの勢いが必要。	4.10	○	
76	○「オアシス21」(名古屋市の)のような2階建て構造で視認性・シンボル性の高い「尖ったもの」を創り、モノレールアーチとと共に駅からもよく見える象徴(ランドマーク)とする。 ○常設のイベント広場を創る。⇒前回提言(短期)	4.10	△	番号「25」と同じ
77	○パルコは千葉駅から富士見経由で若者を引き付ける終着点であり、パルコ撤退の後、次の事業に対して物申せる体制を構築しておくべき。	4.7, 10	△	跡地利用に関しての要望書を提出しており、今後の動向を注視していきます。
78	○西銀座開発に係る地権者の勉強会を開催予定。情報と将来像を共有するとともに、早期実現・完成に向けた合意(覚悟)の形成が必要。	-	△	市も支援していきたいと考えております。
79	○開発の始動には商店街等の関係の覚悟と奮起が必要。	-	△	